安全データシート

作成日：1999 年　4　月　10　日
改訂日：2026 年　8　月　24　日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　SOLVEST 113　ペースト
供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名	エスティーティー株式会社
住所	神奈川県秦野市立野台2－6－1
担当部門	技術開発部
電話番号	0463-80-2591
FAX番号	0463-80-2594
緊急連絡先	秦野事業所:0463-80-2593
主な用途	潤滑剤

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性

皮膚感作性	区分1A
発がん性	区分1A

環境に対する有害性

水生環境有害性短期(急性)	区分1
水生環境有害性長期(慢性)	区分3

上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、
「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

ﾗﾍﾞﾙ要素

絵表示又はｼﾝﾎﾞﾙ

注意喚起語

- 危険

危険有害性情報

- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H332 吸入すると有害
- H350 発がんのおそれ
- H400 水生生物に非常に強い毒性
- H412 長期的影響により水生生物に有害

注意書き

[安全対策]

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置]

- P302 皮膚に付着した場合：P352多量の水で洗うこと。
- P304 吸入した場合：　P340 空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P308 ばく露又はばく露の懸念がある場合：P313 医師の診断／手当を受けること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P321 特別な処置が必要である。
- P333 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：P313医師の診断／手当を受けること。
- P362 汚染された衣類を脱ぐこと：　P364そして再使用する場合には洗濯をすること。
- P391 漏出物を回収すること。

[保管]

- P405 施錠して保管すること。

[廃棄]

- P501 内容物／容器を法令に従って適切に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区分　混合物

化学名又は一般名

成分	含有量	CAS番号	安衛法 通知対象物質	PRTR法
合成油	40～50%	企業秘密	非該当	非該当
鉱油	20～30%	企業秘密	該当	非該当
添加剤	5～10%	企業秘密	非該当	非該当
銅粉	1～10%	7440-50-8	該当	非該当
ホウ酸亜鉛	3%未満※1	1332-07-6	該当	該当※1
シリカ	1.0%未満	14808-60-7	該当	非該当
ジブチルスズ=ジラウラート	1.0%未満※2	77-58-7	該当	該当※2

※1：ホウ素として含有量が1%未満の為、製品としてはPRTR法に非該当です。

※2：スズとして含有量が1%未満の為、製品としてはPRTR法に非該当です。

---

4. 応急措置

吸入した場合

- 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- 汚染された衣類を脱ぐこと。
- 多量の水と石鹸で皮膚を速やかに洗浄すること。
- 医師の手当て、診断を受けること。
- 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

- 水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 医師の手当て、診断を受けること。

飲み込んだ場合

- 口を良くすすぐこと。
- 大量の水を飲ませ、吐かせないこと。
- 医師の手当て、診断を受けること。

応急措置をする者の保護

- 救助者は保護手袋や保護眼鏡などの保護具を着用し、衣類や手に付かないように注意を払うこと。

---

5. 火災時の措置

適切な消火剤

- 小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
- 大火災：散水、噴霧水、耐ｱﾙｺｰﾙ性泡消化剤
- 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤

- 棒状注水

特有の危険有害性

- 火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

- 散水によって逆に火災が広がる恐れがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
- 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
- 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

- 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
- 消火は風上から行い、蒸気、煙の吸入を避ける。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
- 関係者以外を立ち入り禁止にする。
- 作業者は適切な保護具(「8 曝露防止及び保護措置」)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 適切な保護具を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項

- 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 環境中に放出しない。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
- 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

---

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

- 「8 曝露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 火気厳禁

安全取り扱い注意事項

- すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 個人用保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 環境への放出は避けること。
- 容器を密閉しておくこと。

接触回避

- 「10 安定性及び反応性」を参照。

保管

安全な保管条件

- 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
- 容器は直射日光や火気を避けること。

安全な容器包装材料

- 消防法及び国連輸出法規で規程されている容器を使用する。

8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度

成分	管理濃度	許容濃度(曝露限界値、生物学的曝露指標)		
		日本産業衛生学会(2023年版)	ACGIH	
			TLV-TWA	TLV-STEL
合成油	ー	ー	ー	ー
鉱油	ー	3mg/m^3	5mg/m^3	ー
銅(粉じん、ミスト)	ー	ー	1mg/m^3	ー
ホウ酸亜鉛	ー	ー	2mg/m^3	6mg/m^3
結晶質シリカ(石英)	3mg/m^3	0.03mg/m^3	0.025mg/m^3	ー
ジブチルスズ=ジラウラート	ー	ー	ー	ー

設備対策

- 取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 空気中の濃度を曝露限界以下に保つために排気用の換気を行うこと。
- 高熱工程でﾐｽﾄが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

- 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

- 適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

- 適切な眼の保護具を着用すること。
- 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

- 適切な防護服及び顔面用の保護具を着用すること。

衛生対策

- 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	半固体
色	メタリックブラウン
臭い	データ無し
沸点、初留点及び沸騰範囲	データ無し
可燃性	データ無し
爆発下限界及び上限界/可燃限界	データ無し
引火点	>200℃
自然発火点	データ無し
分解温度	データ無し
pH	データ無し
動粘性率	データ無し
蒸気圧	データ無し
密度及び/または相対密度	1.08(比重)
相対ガス密度	データ無し
粒子特性	データ無し

10. 安定性及び反応性

反応性

- 通常の取扱いにおいては反応しない。
- 加熱により発火する。流動、攪拌などにより静電気が発生することがある。

化学的安定性

- 通常の取扱いにおいては安定である。
- 強酸剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
- 塩基性物質、還元剤と反応する。

避けるべき条件

- 加熱、裸火、火花

混触危険物質

- 酸化剤、塩基性物質、還元剤

危険有害な分解生成物

- 熱分解生成物として、一酸化炭素等が生成される可能性がある。

11. 有害性情報

成分ごとの有害性情報

成分	急性毒性				
	経口	経皮	吸入:ガス	吸入:蒸気	吸入 (粉じん及びミスト)
合成油	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
鉱油	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
銅	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
ホウ酸亜鉛	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
結晶質シリカ(石英)	分類できない	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
ジブチルスズ=ジラウラート	区分3	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分2

成分	皮膚腐食性 及び刺激性	眼に対する 重篤な損傷性 又は眼刺激性	呼吸器感作性	皮膚感作性	生殖細胞 変異原性
合成油	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
鉱油	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
銅	分類できない	分類できない	分類できない	区分1A	分類できない
ホウ酸亜鉛	区分に該当しない	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
結晶質シリカ(石英)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分2
ジブチルスズ=ジラウラート	区分2	区分2A	分類できない	分類できない	区分2

成分	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性		誤えん有害性
			単回ばく露	反復ばく露	
合成油	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
鉱油	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
銅	分類できない	分類できない	区分1、区分3	分類できない	分類できない
ホウ酸亜鉛	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
結晶質シリカ(石英)	区分1A	分類できない	分類できない	区分1	分類できない
ジブチルスズ=ジラウラート	分類できない	区分1B	分類できない	区分1	分類できない

製品としての有害性情報

- 製品としての安全性試験は行っていない。
- GHS分類については「2. 危険有害性の要約」を参照。

12. 環境影響情報

成分ごとの環境影響情報

成分	水生環境有害性			オゾン層への有害性
	急性	慢性	生体毒性	
合成油	分類できない	分類できない	データなし	分類できない
鉱油	区分に該当しない	区分に該当しない	ファットヘッドミノー LC_{50} ＞100mg/L/96H	分類できない
銅	分類できない	区分4	データなし	分類できない
ホウ酸亜鉛	分類できない	分類できない	データなし	分類できない
結晶質シリカ(石英)	区分に該当しない	分類できない	オオミジンコ LC_{50} ＞10000mg/L/24H	分類できない
ジブチルスズ=ジラウラート	区分1	区分1	オオミジンコEC50＝0.66mg/L/48H	分類できない

残留性・分解性

・ 混合物としてデータなし。

生体蓄積性

・ 混合物としてデータなし。

土壌中の移動性

・ 混合物としてデータなし。

他の有害影響

・ 混合物としてデータなし。

環境基準

・ 混合物としてデータなし。

オゾン層への有害性

・ 混合物としてデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
・ 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体が処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
・ 廃棄物処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

・ 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	3077
国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
国連分類	9 :Miscellaneous dangerous substances
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当

国内規制

陸上規制情報	消防法・毒劇法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。

特別の安全対策

- 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- 重量物の上積みをしない。
- 危険物は当該危険物が転倒し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
- 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
- 危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる災害等が発生するおそれがある場合には、災害を防止する為の応急措置を講ずると共に、最寄の消防機関その他関連機関に通報すること。
- 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

---

15. 適用法令

労働安全衛生法

- 通知・表示対象物質(鉱油、銅、シリカ、ジブチルスズ=ジラウラ―ト、ホウ酸亜鉛)
- リスクアセスメント対象危険有害物(鉱油、銅、シリカ、ジブチルスズ=ジラウラ―ト、ホウ酸亜鉛)

※ 2026年4月1日施行分まで反映

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

- 製品として該当しない
- 第1種指定化学物質含有(ホウ酸亜鉛、ジブチルスズ=ジラウラ―ト)

※ 2023年4月1日施行分まで反映

毒物及び劇物取締法

- 製品として該当しない
- 劇物含有(ホウ酸亜鉛)

※ 2025年11月1日施行分まで反映

高圧ガス保安法

- 該当しない

消防法

- 該当しない

船舶安全法

- 毒物類

航空法

- 毒物類

海洋汚染防止法

- 油分排出規制(原則禁止)
- 有害液体物質Y類

---

16. その他の情報

参考文献

- 石油化学メーカー:製品安全データシート、セーフティーデータシート
- デジタル庁:e-Gov法令検索
- 日本産業衛生学会:許容濃度等の勧告
- 厚生労働省:職場の安全サイト
- 経済産業省:第一種指定化学物質リスト
- 中央労働災害節協会:作業環境評価基準
- 独立行政法人製品評価技術基盤機構:・化学物質総合情報提供システム
- JIS Z7253:2019適用

※ 尚、本製品安全データシート作成に当たり、文献及び資料等の無かった項目については省略しています。掲載した成分物質について、個別の情報が必要な場合はご一報下さい。

[注意]

- 記載内容は一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保障をなすものではありません。
- 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、他の物質と混合したり、特殊な取扱いの場合にはご配慮をお願いします。